

## 2016 年度ルール改定(抜粋)

### 4-11 項 テンポラリーランナー

捕手が塁上の走者となっていて二死となったとき、あるいは二死後、捕手が出塁し、走者となったとき、捕手の代わりにテンポラリーランナーを使用することができる。

- (1) テンポラリーランナーと交代させるかどうかは、攻撃側チームの選択である。
- (2) 二死後であれば、いかなる時点でもテンポラリーランナーを使用することができる。
- (3) テンポラリーランナーを使用するときは、塁上の走者以外の選手で、打順が最後に回ってくる者をテンポラリーランナーとする。  
(注)テンポラリーランナーに間違った選手が出た場合には、正しい選手と交代させる。(それに対するペナルティはない)

### 【改正の趣旨】

ISF(国際ソフトボール連盟)のルール解釈・適用に合わせる。

### ルールの徹底

ルールの改訂ではないが、以下のルール(不正投球)について、今まで以上に厳密に判定するように神奈川県ソフトボール協会審判委員会で伝達されました。

(ISF のルール解釈・適用に合わせる)

### 6-1 項 投球の準備

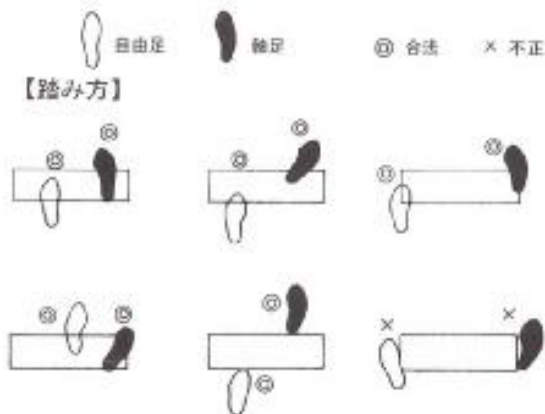
5. 投球動作に入るときは、身体の前または横で球を両手で持ち、2秒以上、5秒以内身体を完全に停止しなければならない。

### 6-3 項 正しい投球動作

6. 打者に対して自由足を一步前方に踏み出すと同時に、投球しなければならない。自由足を踏み出す範囲は、投手板の両端の前方延長線内でなければならない。

### 投手板の踏み方・踏み出し方

(右投げ投手)



自由足・軸足とも、両足が投手板に触れていれば合法的な投手板の踏み出し方である。  
注) 穴が掘れて投手板に触れなくなった場合には、穴を埋めること。